

蔵王町 蔵王町立遠刈田小学校(理科・総合的な学習の時間)「流れる水のはたらき」

○市町名 蔵王町

○学校名 蔵王町立遠刈田小学校

○期 日 令和6年10月2日(水)

○内 容

理科・総合的な学習の時間(第5学年)
「流れる水のはたらき」

○講 師

環境政策課(ジオパーク推進室)
ジオパーク専門員 北川 桐香 氏



○児童の声

・僕は、川の学習で、川は下流に行けば行くほど、川の幅は広くなることと石の大きさが小さくなっていくことが分かりました。石もいろいろな種類があることが分かり、探すのが楽しかったです。



・私が川の学習で分かったことは2つあります。
1つ目は、川の石の大きさです。上流はごろごろした大きい石、中流は上流の石の4分の1くらいの大きさの石、下流は砂のような小さい石でした。2つ目は、川の流れの速さです。上流が一番速くて、中流はゆっくり、下流はとてもゆっくりとした速さでした。



・僕が川の学習で分かったことは、松川は白石川、阿武隈川、太平洋とずっと繋がっているということです。川の幅や石の大きさが変わって行って、おもしろいと思いました。



- ・私が川の学習で分かったことは、2つの小さい川が合流して、大きな川になるということです。松川は白石川と合流し、白石川は阿武隈川と合流し、阿武隈川が太平洋まで繋がっていることを知りました。阿武隈川がとても大きく、広くてびっくりしました。



- ・私は川の学習で、松川が白石川、阿武隈川、太平洋と繋がっていることが分かりました。このように名前が変わりつつも海までちゃんと繋がっていることがすごいと思いました。



○講師から

小5理科「流れる水のはたらき」の単位では、川の水の勢いや河原の観察を通して、流れる水のもつはたらきと土地の変化について学びます。学校を飛び出し、上流から下流へ、川をたどっていく校外学習が、流れる水のもつエネルギーや水の循環を学ぶ機会となるだけでなく、自らの暮らしと自然のかかわりについて考えるきっかけになれば嬉しいです。



○教職員の声

今年度、5学年では「蔵王をさぐろう」をテーマに地域学習を行いました。普段目にしている身近な地域の川でも、川の性質や川幅、石の様子など初めて知ることが多く、児童は目を輝かせて活動していました。

ジオパーク推進室の皆様には、お忙しい中たくさんご協力をいただき、ありがとうございました。



○教育事務所から

身近な松川がどのように流れ、太平洋へとつながっているか、水の流れや河原の石がどのように変化するのかということを、実際に五感を使って学ぶことができる貴重な体験でした。

